

Steel

—略称 JMIU 鉄鋼自動車支部—

No.24 2014年1月1日

JMIU 鉄鋼自動車関連労働者支部

発行者 書記長 香山純一

新しい年が始まった。希望の持てる社会にするために、一歩ずつでも前へ進みたい。

昨年は、支部として毎月の学習会を中心に、「イワキ工業裁判」を当事者の一人である藤原さんと交えて、議論し支え合った一年でした。唯一、7月の平和大行進に、支部として今年は参加できず、岡垣〜古賀間が途切れるかと案じられたが、門司小倉支部の力を借りて面目を保つことが出来ました。今年は、早めの対応で参加していきたい。また、11月3日に、地区労連と憲法改悪反対北九州共同センターとJMIU福岡地本共催で「憲法・労働法制を考えるつどい」が開催されましたが、運動の方向性として、いい前例が出来たのではないのでしょうか。毎年こういう取り組みをするべきだと思います。もっと市民に対するアピールも必要だと思いますが。ちなみに私は司会を担当しました。

今年は、支部としてどういう一年にするのか。3月の福岡地本の定期大会の前には、支部の大会を行ないたいと思います。1月の支部会議でお話ししましょう。昨年から考えていることは、当支部は一企業の組合ではなく、個人参加で、しかも年齢の高い組合なので、春闘とか秋闘とか統一行動が要求として出てこないの、地本の行動と一緒にするのは当然ですが、地区労連の呼びかけにも、積極的に参加していくようにしたいと思います。仕事の分担も出来ればと思っています。

もう一つ、「金属労働新聞」をもっと活用するべきでしょうね。12月10号には、「うたごえ祭典の投稿記事がありましたし、2014年1月5日のトップ記事は、「家族を、職場を守りたい！」

次回、支部会議のお知らせ

1月24日（金）18時30分

製鉄革新会館にて

主な議題

1. 学習会
2. イワキ争議支援 他

として、「課長」昇格の業務指示をJMIU組合に加入し、組合と一緒にね返したということです。当人の勇気もさることながら、組合も良く準備してたたかった成果が報告されています。是非、一読ください。また、宇都宮弁護士の「たたく労働組合に期待する」という記事は、こういう考え方のこそ政治の表舞台に立ってほしいと思いました。生熊委員長の「年頭のあいさつ」は今度の会議で読み合わせしたいと思います。

ことしよろしくお祈りします。

●退職給付制度あり企業、定年時の退職給付額とも大幅に減少／厚生労働省

厚生労働省は11月21日、2013年「就労条件総合調査」結果を公表した。年次有給休暇の取得率は、前年を2.2ポイント下回る47.1%と、3年ぶりに低下した。また、退職給付（一時金・年金）制度のある企業割合が、4社に3社程度（75.5%）まで減少。勤続35年以上の定年退職者の退職給付額も、「大学卒（管理・事務・技術職）」で2,156万円と、5年前の前回調査より大幅に（335万円）下落した。

●14年3月高卒予定者の就職内定率64.1%／文科省

文部科学省は17日、「2014年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況」を発表した。10月末の高校卒業予定者の就職内定率は64.1%で、昨年同期から3.2ポイント上昇、男女別では男子66.7%、女子60.4%となり、男子3.0ポイント、女子3.6ポイント、それぞれ上昇した

以上